

## CONTENTS

- 01 CEO中村和男メッセージ
- 02 業績回復と収益の伴った成長を目指して
- 03 当期業績のご報告
- 04 2015年9月期の見通し
- 05 特集1 グローバル化への対応
- 07 特集2 ブラジル巡回診療活動の支援  
生涯現役－シニアの活躍
- 09 事業別概況
- 11 連結財務諸表
- 13 トピックス／株主の皆様の声
- 14 株式の状況／会社概要
- 巻末 株主メモ／ご案内／healthクリックの健康コラム

# CMIC REPORT 2014

## シミックレポート 2014

シミックホールディングス株式会社 第30期 ビジネスレポート  
2013.10.1～2014.9.30



**CMIC**

Pharmaceutical Value Creator

証券コード: 2309 東証一部

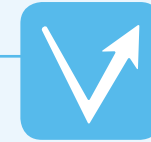


中村和男  
代表取締役CEO

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。  
2014年9月期の決算および事業の概況についてご報告申し上げます。  
医薬品業界におきましては、後発医薬品の普及促進および長期収載品の薬価見直しなどを通じた医療費抑制策の継続や主力製品の特許切れなど、厳しい事業環境にあります。一方で、政府の成長戦略において医療関連産業活性化や科学技術イノベーションの創出に向けた産官学の連携・協力が促進され、アカデミアとの連携やパイプラインの導入を通じて製薬企業が新薬開発力強化に積極的に取り組む動きが加速しております。また、内資製薬企業がアジアをはじめとする新興国での事業拡大に取り組む一方で、海外バイオベンチャーが日本市場に積極的に参入するなど、開発・製造・販売のスピードアップや効率化を目指したアウトソーシングニーズは引き続き拡大するものと思われまます。  
このような環境の下、当社グループは皆様のご支援のおかげをもちまして、売上高は52,836百万円(前期比3.7%増)と過去最高の売上を達成いたしました。営業利益につきましては、CRO事業、CSO事業は増加したものの、CMO事業における受託生産量の減少およびヘルスケア事業における受注減少などの影響により、2,766百万円(前期比33.4%減)と、誠に遺憾ながら創業以来初の減益となりました。なお、年間配当につきましては、安定的かつ継続的な配当を行うことや、株主の皆様のご支援に報いることなどを重視し、前期と同額の35円とさせていただきます。  
足元は厳しい状況ではありますが、2016年9月期に向けた業績のV字回復を目指しスピードを上げて改革に取り組んでまいりまます。  
当社独自モデルであるPVC (Pharmaceutical Value Creator) の更なる進化を図りながら、各事業領域の基盤や個々のサービスの一層のレベルアップと、「One CMIC」として事業間シナジーを追及し、次のステージへの成長を目指してまいります。グループ全役員一同、鋭意努力してまいりますので、何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

シミックグループのビジネスモデルと事業名

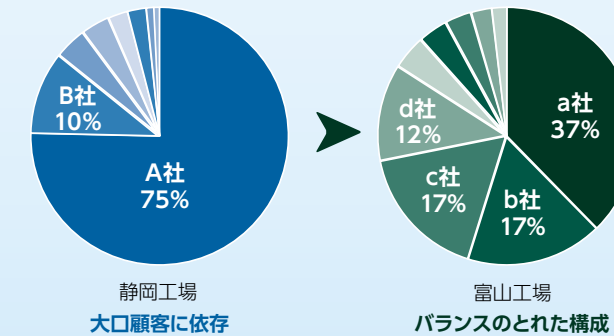
- PVC (Pharmaceutical Value Creator) ..... 製薬企業の価値最大化を支援するシミックグループ独自のビジネスモデル
- CRO事業 (Contract Research Organization : 医薬品開発支援) ..... 製薬企業などに対し、医薬品の開発に関するサービスを提供する事業
- CMO事業 (Contract Manufacturing Organization : 医薬品製造支援) ..... 製薬企業などから医薬品などの製造および分析化学サービスに係る業務を受託する事業
- CSO事業 (Contract Sales Organization : 医薬品営業支援) ..... 製薬企業などに対し、医薬品の営業・マーケティング支援や、BPO・人材サービスを行う事業
- ヘルスケア事業 ..... 主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進を支援する事業
- IPD事業 (Intellectual Property Development : 知的財産開発) ..... 診断薬や患者数の少ない疾病の治療薬(希少疾病用医薬品、オーファンドラッグとも言う)をシミックグループが自社で開発する事業



業績回復と収益の伴った成長を目指して

CMO事業

静岡工場を主な要因とするCMO事業の業績不振に対し、Aesica Pharmaceuticals Limited (イギリス)と、ヨーロッパおよび日本における営業力強化のための相互協力や、UDG Healthcare plcグループ(アイルランド)と、パッケージングアウトソーシングにおける戦略的提携を行うなど、海外CMOとの連携を通じた営業活動の強化を促進し、新規顧客の獲得を目指します。また、生産性向上活動を通じたコスト構造の改革や総人件費抑制のための新人事制度の導入を行うとともに、他社との差別化につながる設備投資を行ってまいります。



IPD事業

診断薬、オーファンドラッグの売上は増加していますが、診断薬の開発費、オーファンドラッグの販売コストにより損失が続いています。売上規模を更に拡大し、販売コストを節減することで利益の出る体質づくりに取り組んでまいります。

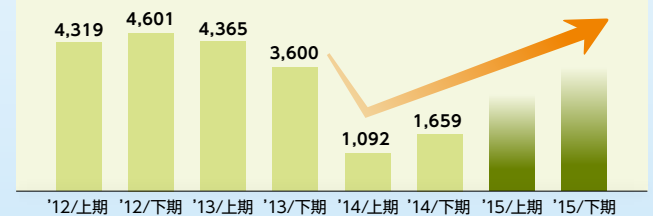
ヘルスケア事業

サイトサポート・インスティテュート(株)(SSI)のコンプライアンス問題により、2014年9月期はクライアントからの新規発注停止が相次ぎ、受注高は大幅に減少しました。再発防止策や改善活動など信頼回復に向けた取り組みを最優先に実施した結果、足元の受注は回復傾向にあります。今後も引き続き、生命関連企業としてのコンプライアンスを徹底するとともに、専門性を強化し、優良な医療機関とのリレーション維持、向上に取り組み、業績回復を目指します。

信頼回復に向けた取り組み

- 潜在課題の共有と改善活動
- 社内研修の充実化
- よりきめ細かいオペレーション管理体制を構築
- 受注検討段階でのリスク評価を複数部門で実施

SSI受注高の推移(百万円)



売上規模の拡大

- 国内外の既存オーファンドラッグを積極的に導入、販売
- コ・プロモーション、コ・マーケティング

ローコストモデルの検討

- グループの人材・機能を活用し、原価および販売管理費を低減
- Web、コールセンターなどを活用した効率的かつ多面的な情報提供

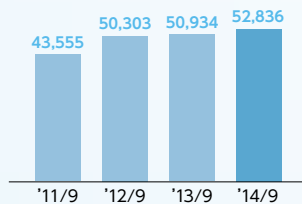


## 当期業績のご報告

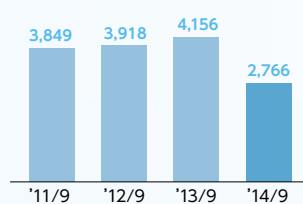
当期においては、各事業領域の基盤を強化するとともに、個々のサービスの一層の充実を図ることにより、事業の収益性と生産性の向上および事業間シナジーの追及に取り組みました。

連結業績につきましては、堅調な受注を背景に、CRO事業、CSO事業の売上高が伸びましたが、CMO事業、ヘルスケア事業の売上高が減少したため、売上高は52,836百万円(前期比3.7%増)となりました。営業利益につきましては、CRO事業、CSO事業が大幅に増加したものの、CMO事業、ヘルスケア事業の減少などにより、2,766百万円(前期比33.4%減)となりました。これに伴い、経常利益は2,645百万円(前期比32.9%減)、当期純利益は1,174百万円(前期比33.0%減)となりました。

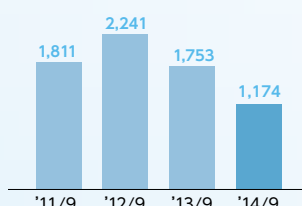
売上高(百万円)



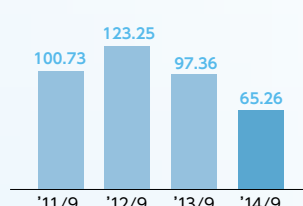
営業利益(百万円)



当期純利益(百万円)



1株当たり当期純利益(円)



## 各事業の取り組みと見通し

### CRO(医薬品開発支援)事業

- 医療機器メーカーの積極的な取り組みや、新規参入企業の動向を踏まえ、市場拡大が見込まれる医療機器分野の開発支援体制を整備し、医療機器支援業務を強化。
- 専門性と効率性を一層促進し、グローバル開発案件や治験国内管理人\*業務等の支援業務を拡大。  
\*日本に拠点のない海外製薬企業に代わり、治験の実施にかかる業務を行う企業
- グローバル開発案件の増加に伴い、アジア地域の事業体制を強化。
- モニタリング業務を中心に、好調な受注を背景に各業務で売り上げが堅調に伸長、増収増益の見通し。

### CMO(医薬品製造支援)事業

- 2014年4月、固形剤の受託生産力の向上および注射剤の受注を強化するため、田辺三菱製薬(株)より足利工場を譲受け、シミックCMO足利(株)として営業開始。
- 2014年6月、次世代抗体医薬品の開発・製造ノウハウ確立のため、JSR(株)と合併会社 シミックJSRバイオロジックス(株)を設立。
- シミックCMO足利(株)の業績が通期で寄与する一方、シミックCMO(株)の既存案件において受託生産量の減少により減収減益の見通し。

## 2015年9月期の見通し

2015年9月期の見通しにつきましては、売上高は当期に比べ増加し、56,300百万円(当期比6.6%増)と想定しています。営業利益につきましては、CMO事業、ヘルスケア事業の受注減少などに伴う利益率の低下により、2,500百万円(同9.6%減)、経常利益は2,200百万円(同16.8%減)と想定しています。当期純利益につきましては、特別利益として(株)シミックエムピーエスエスの株式売却益、特別損失として本店移転費用等の計上を見込んだ結果、900百万円(同23.4%減)となる見通しです。

(2014年10月1日付の組織変更に伴い、分析化学サービスを行う(株)応用医学研究所および(株)JCLバイオアッセイのセグメントをCMO事業からCRO事業に変更しております。)

当レポートに記載されている業績予想および将来予測などは、入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があります。

## セグメント別売上高・営業利益の2015年9月期見通し

	売上高	営業利益
CRO事業	26,800	5,350
CMO事業	14,600	△340
CSO事業	8,800	810
ヘルスケア事業	6,400	△460
IPD事業	600	△580
内部取引消去/調整額	△900	△2,280
合計	<b>56,300</b>	<b>2,500</b>

### CSO(医薬品営業支援)事業

- MR派遣業務の受注力強化および新たなサービスモデル拡充のため、(株)シミックエムピーエスエスの株式の一部を、ヨーロッパ最大級のCSOを保有するUDG Healthcare plclに譲渡し合併会社化。海外製薬企業との更なる関係強化を図る。
- MR派遣業務および一般派遣業務において受注が伸びていることから、増収増益の見通し。

### IPD(知的財産開発)事業

- 診断薬の高感度測定が可能な改良型を販売開始。簡易型(Dip-test)の開発に取り組む。
- 診断薬、オーファンドラッグの売上が伸長する見通し。
- 引き続きローコスト体制による事業化を図る。

### ヘルスケア事業

- SMO事業の足元の新規受注は回復傾向にあるものの、2014年9月期の受注が大幅に減少した影響などにより、減収減益の見通し。
- 業績の早期回復を図るため、医療機関ネットワークの拡大を推進。品質の確保と稼働率の向上に取り組む。



# グローバル化への対応

1996年、シミックは国内CROではじめて海外に進出しました。韓国に進出して以来、CROはアジアに6ヶ所、CMOは米国と韓国に2ヶ所と拠点を増やし、海外事業を展開しています。

これらの拠点を基盤として、グループの機能やノウハウを最大限に活用し、地域特性により適合した事業展開を行うことで、多様化する顧客のニーズに応えてまいります。

## アジアへの進出

1990	2000	2010
1996 韓国へ進出(ジョイントベンチャー)	2001 中国にてCRO業務開始	2013 CMIC ASIA PACIFIC (MALAYSIA) SDN. BHD. 設立
1998 CMIC Korea Co., Ltd. 設立	2004 CMIC(Beijing)Co., Ltd. 設立	
	2006 CMIC ASIA-PACIFIC PTE. Ltd. 設立	

## ベストプラクティス賞を受賞

10月にシンガポールで開催された2014 FROST & SULLIVAN ASIA PACIFIC BEST PRACTICES AWARD (アジア・太平洋地域 ベストプラクティス賞)において、シミックグループは「EMERGING CRO COMPANY OF THE YEAR」を受賞しました。

調査事業やコンサルティング事業を国際的に展開しているFrost & Sullivan社が、今後市場の拡大が見込まれるアジア太平洋地域における医療、環境、エネルギー、IT、セキュリティなどの各分野においてその取り組みが顕著な企業を表彰。

シミックは、クライアントの事業の強化に役立っただけでなく総合的なソリューションを提供し、シミックのビジネスを成長させたと評価されました。



中村宣雄CROカンパニー長、PeyNi Chan, Head of CMIC APAC Services



## CRO (医薬品開発支援) 事業

### シンガポール

世界30社以上の大手バイオメディカル・サイエンス企業が、シンガポールをイノベーション推進の主要拠点として活用しています。シミックではその開発ニーズに対応するため、アジアのグローバル案件はシンガポールにマネジメント機能を移管し、スピーディーな開発を支援しています。



## CMO (医薬品製造支援) 事業

### ニュージャージー (米国)

CMIC CMO USAは2007年12月に発足し、独自の技術を活かした医薬品、治験薬の受託製造を行っています。2010年のFDA\*査察では、高い品質と技術を示し査察を問題なくパスしました。欧米、日本の製薬会社に対して、豊富な実績に裏打ちされた信頼性の高いサービスを提供しています。



\*FDA (Food and Drug Administration) アメリカ食品医薬品局

## CSO (医薬品営業支援) 事業

### シミックMPSS、UDGグループと合併会社化

(株)シミックエムピーエスエス (MPSS) は、2012年11月に、ヨーロッパ最大級のCSOであるアッシュフィールドと業務提携し、アッシュフィールドの様々なビジネスモデルを日本市場に適した形にカスタマイズし、新しい教育プログラムの提供など、サービスを拡充してきました。

2014年10月からは、アッシュフィールドを有するUDG Healthcare plcにMPSSの株式の一部を譲渡し、シミック・アッシュフィールド(株)として新しくスタートしました。MPSSが日本市場で蓄積した専門知識と、世界

22ヶ国で様々な事業を展開しているアッシュフィールドの国際的な事業展開の総合力を合わせるにより、更なる競争力の強化とサービスラインナップの拡充、CSO事業のアジア展開など新たな市場開拓を図ってまいります。



## ブラジル巡回診療活動の支援

シミックグループ従業員による支援金の寄付

ブラジルに移住した日系移住者の治療、健康管理、疾患予防を行うため、毎年健診バスで巡回診療を行うブラジル在住日系人医師がいることをご存知でしょうか？



金の調達が困難で、継続することが難しい状況にありました。

シミックでは、「巡回診療活動」の意義に賛同し、従業員へ支援を募りました。わずかな期間でしたが、日本国内の従業員だけでなく海外拠点からも沢山の応援メッセージとともに総額1,143,200円の支援金が寄せられました。

森口エミリオ秀幸医師からも大変感謝され、「個人で続けることが難しい活動ですが、皆様のあたたかいご支援のおかげでここまで続けられています。これからも、心待ちにしてくれている日系移住者の方の期待に応えていきたいです。」との御礼のメッセージをいただきました。

シミックは今後も積極的にこの活動の支援に取り組んでいきます。



ポルトガル語を話すことができず現地の病院に通うことができない日系移住者のために、3,000Km以上の距離を健診バスで巡回し日本語による診察を行っているボランティア活動があります。

森口エミリオ秀幸医師が親子三代に渡って受け継いでいる活動で、この年1回の診察を心待ちにしている日系移住者は少なくありません。ところが、この活動は国からの助成金などを受けていないため運営資

## 生涯現役 — シニアの活躍

シミックグループでは、社員の多様性や人格、個性を尊重し、ひとりひとりの価値や多様性を活かす組織づくりに取り組んでいます。

勤労意欲の高まりにより定年後も働き続けるシニアが増えています。シミックでは豊富な経験と知識を持ったシニアが活躍しています。その活躍をご紹介します。

シミックの戦略・薬事コンサルティング部は、医薬品開発や承認申請に関わる戦略的なコンサルティング業務を行っています。平均年齢は60歳以上と、グループの平均年齢よりも圧倒的に高く、数十年におよぶ経験を持つ人材がそろっています。

近年、再生医療や、iPSや骨髄などを活用した細胞組織加工製品のコンサルティングなど先端医療に関わるプロジェクトが増加し、その半数以上を海外のお客様が占めています。そのような最先端の知識が必要となる状況では、知識が陳腐化することはなく、モチベーションも高く保てるため、60歳、70歳になっても皆バリバリ仕事しています。製薬企業で多くの経験を積んだシニアを積極的に雇用しているシミックだからこそ成り立つ業務といえます。シミックの戦略・薬事コンサルティング部は、生涯現役を地で行くシニアが全力で活躍できる集団になっています。



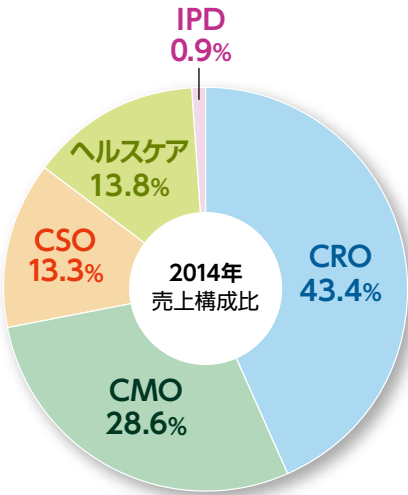
平均年齢は60歳以上

皆バリバリ仕事しています！

生涯現役のエキスパート集団



# 事業別概況

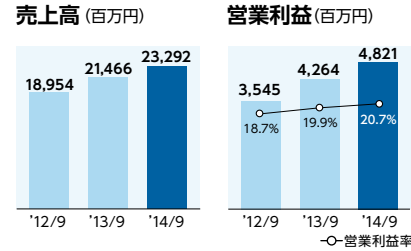


## 主要顧客と業務



## CRO (医薬品開発支援) 事業

主に製薬企業に対し医薬品開発 (臨床試験など) を支援する事業



### 売上高

モニタリング業務およびデータマネジメント業務において新規受注および既存案件が好調に進捗したこと、シミックPMS(株)の売上が加わったことなどにより、前期を上回りました。

### 営業利益

モニタリング業務およびデータマネジメント業務において案件が順調に進捗したことにより、前期を上回りました。

### Topics

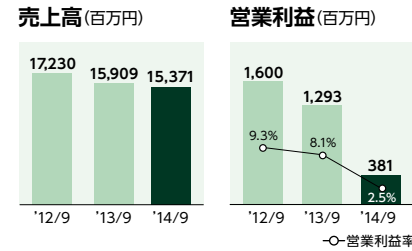
医療機器の開発支援体制を整備し、医療機器支援業務の強化に取り組んでいます。また、データマネジメント業務において、Medidata Solutions社が提供する「Medidata Patient Cloud」について日本で初めて認定を取得し、サービス提供を開始しました。

非臨床試験・臨床試験(治験)、承認申請、製造販売後調査等開発全般の支援



## CMO (医薬品製造支援) 事業

主に製薬企業から医薬品などの分析・製造業務を受託する事業



### 売上高

シミックCMO(株)の業績が加わりましたが、後発医薬品の普及などにより既存案件の製品の受託生産量が減少したこと、分析化学サービス業務において競争が激化していることなどにより、前期を下回りました。

### 営業利益

シミックCMO(株)および分析化学サービス業務の売上高の減少により前期を下回りました。

### Topics

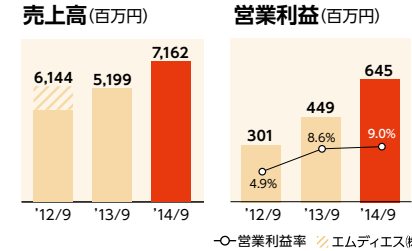
田辺三菱製薬(株)から足利工場を譲受け、シミックCMO(株)の営業を開始しました。固形剤の受託生産力の向上と注射剤の受注強化に取り組んでいます。また、次世代抗体医薬品の開発・製造ノウハウ確立のため、JSR(株)と合併会社シミックJSRパイオロジクス(株)を設立しました。

治験薬・医薬品の受託製造や分析化学サービス業務



## CSO (医薬品営業支援) 事業

主に医薬品の営業・マーケティング支援やBPO・人材サービスを行う事業



### 売上高

MR派遣業務およびBPOサービス業務の新規受注および既存案件が好調に進捗したことにより、前期を上回りました。

### 営業利益

MR派遣業務およびBPOサービス業務の新規受注および既存案件が好調に進捗したことにより、前期を上回りました。

### Topics

MR派遣業務の大型新規案件の受託により、MRの採用を強化しました。また、更なる競争力の強化、サービスラインナップの拡充のため(株)シミックMPSSの株式の一部をUDGグループに譲渡し、合併会社化しました。

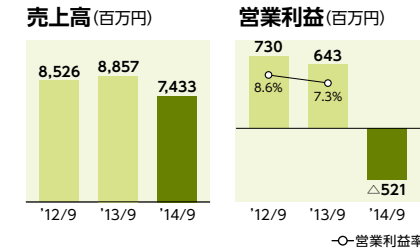
MR (医薬情報担当者): 医療機関に対して、医薬品の効能や副作用などに関する情報の提供と収集にあたる専門スタッフのこと

MR(医薬情報担当者)の派遣や医療・製薬業界向けBPO・人材サービス



## ヘルスケア事業

医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進を支援する事業



### 売上高

SMO業務の新規受注が減少したことにより、前期を下回りました。

### 営業利益

SMO業務の新規受注が減少したことにより、営業損失が発生しています。

### Topics

SMO業務の足元の受注は回復傾向にありますが、新規受注回復に向けて注力しています。

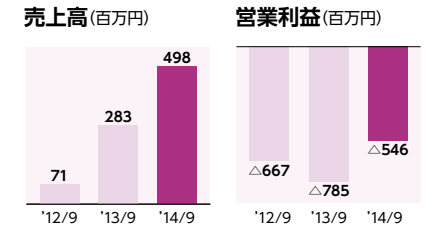
SMO (Site Management Organization) 治験施設支援機関: 臨床試験を実施する医療機関から委託を受けて医療機関の治験業務を支援する企業・組織

治験施設支援やヘルスケア情報サービス



## IPD (知的財産開発) 事業

自社にて知的財産を開発する業務



### 売上高

診断薬およびオーファンドラッグの販売量増加により、売上高が増加しました。

### 営業利益

診断薬などにかかる研究開発費および(株)オーファンパシフィックにおける販売にかかる費用などの計上により、営業損失が発生しています。

### Topics

診断薬の高感度測定が可能な改良型を販売しました。また、オーファンドラッグ「ブフェニール®」および「ノーマサング®」の疾病認知度の向上を図るとともに、販売経費の節減に取り組んでいます。

診断薬やオーファンドラッグなどの開発や販売



# 連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

科目	前期 2013年9月30日現在	当期 2014年9月30日現在	増減額
<b>資産の部</b>			
流動資産	22,891	23,619	728
固定資産	19,963	25,617	5,653
有形固定資産	14,466	18,819	4,353
無形固定資産	2,128	2,470	342
投資その他の資産	3,369	4,327	957
<b>資産合計</b>	<b>42,855</b>	<b>49,237</b>	<b>6,381</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	13,677	16,406	2,729
固定負債	9,576	12,520	2,943
<b>負債合計</b>	<b>23,253</b>	<b>28,927</b>	<b>5,673</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	19,682	20,220	537
その他の包括利益累計額	△131	4	136
少数株主持分	51	85	33
<b>純資産合計</b>	<b>19,601</b>	<b>20,309</b>	<b>708</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>42,855</b>	<b>49,237</b>	<b>6,381</b>

**ポイント 1 資産合計**  
総資産は、シミックCMO足利(株)取得に伴う固定資産の増加などにより63億円増加し492億円となりました。

**ポイント 2 負債合計**  
負債は前期末に比べ56億円増加し、289億円となりました。主にシミックCMO足利(株)取得に伴う長期借入金金の増加などによります。

**ポイント 3 純資産合計**  
純資産は、利益剰余金の増加などにより7億円増加し、203億円となりました。

連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

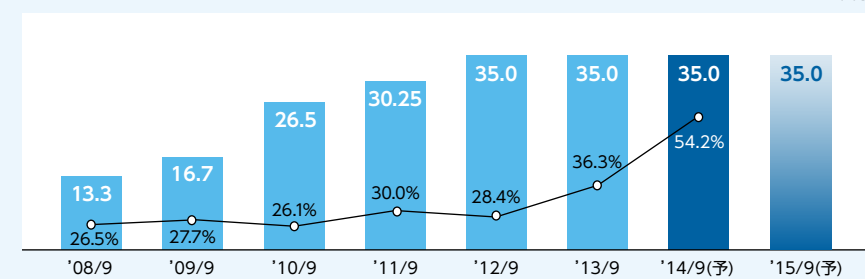
科目	前期 2012年10月1日から 2013年9月30日まで	当期 2013年10月1日から 2014年9月30日まで	増減額
<b>売上高</b>	<b>50,934</b>	<b>52,836</b>	<b>1,901</b>
売上原価	38,792	41,948	3,156
売上総利益	12,142	10,887	△1,254
販売費および一般管理費	7,985	8,120	134
<b>営業利益</b>	<b>4,156</b>	<b>2,766</b>	<b>△1,389</b>
営業外収益	227	148	△79
営業外費用	442	269	△173
<b>経常利益</b>	<b>3,941</b>	<b>2,645</b>	<b>△1,296</b>
特別利益	190	281	92
特別損失	202	459	256
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>3,928</b>	<b>2,467</b>	<b>△1,460</b>
法人税、住民税および事業税	2,252	2,078	△174
法人税等調整額	△9	△811	△801
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△68	25	93
<b>当期純利益</b>	<b>1,753</b>	<b>1,174</b>	<b>△573</b>

**ポイント 4 売上高**  
売上高は528億円と前期比3.7%増となりました。CRO事業、CSO事業の売上高が伸びましたが、CMO事業、ヘルスケア事業の売上高は減少しました。

**ポイント 5 営業利益**  
営業利益は27億円と前期比33.4%減少となりました。CRO事業、CSO事業の営業利益が大幅に増加したものの、CMO事業、ヘルスケア事業の営業利益が減少したことによります。

**ポイント 6 当期純利益**  
定利工場譲受けに伴う負ののれん発生益2億円を計上しましたが、営業利益の減少に伴う経常利益の減少に加え、損害賠償金や固定資産除却損などを計上したことにより、当期純利益は11億円と前期比33%減となりました。

配当金(単位:円)・配当性向(%)

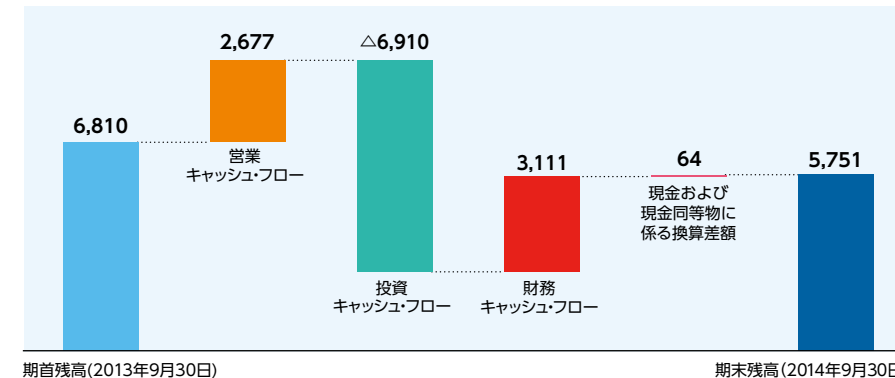


## 株主還元について

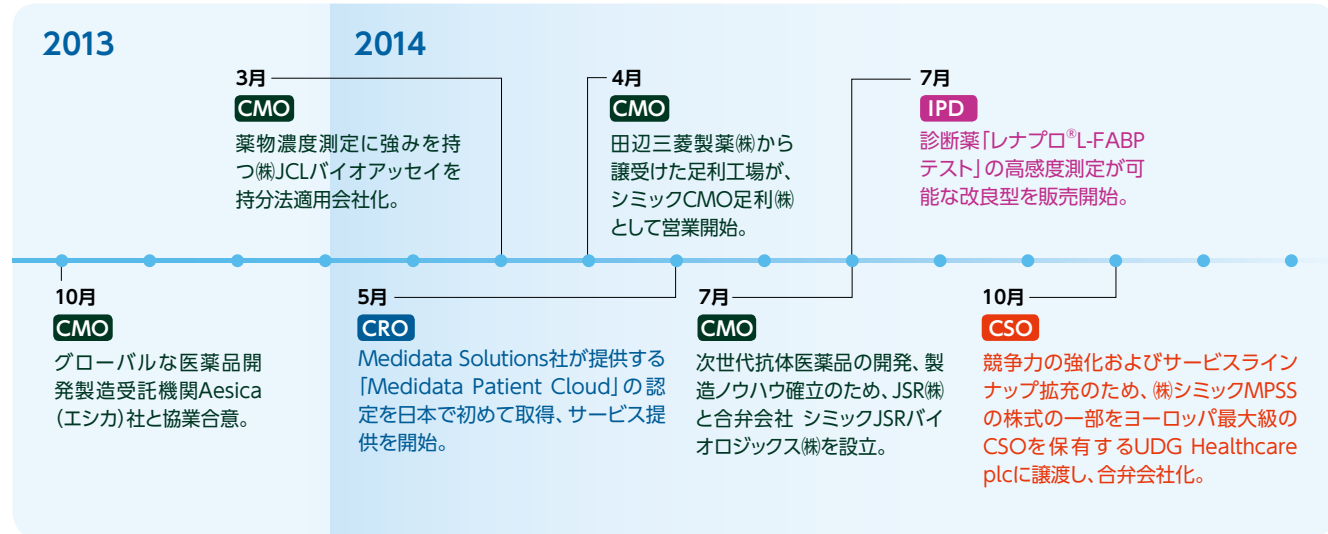
当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要政策の一つと位置付け、収益力向上や企業基盤の強化のための内部留保を確保しつつ、業績に応じた配当を実施することを基本方針としております。当期につきましては、安定的かつ継続的な配当を行うことや、株主の皆様のご支援に報いることなどを重視し、前期と同額の35円とさせていただきます。

※2011年4月1日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割しております。上記のグラフおよび文中では当該株式分割に伴う影響を加味し遡及修正を行った場合の配当状況を記載しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)



**ポイント 7 キャッシュ・フロー**  
当期の営業C/Fは主に利益の増加により26億円の収入、投資C/FはCMO事業における固定資産およびJCLバイオアッセイの株式の取得などにより69億円の支出、財務C/Fは長期借入金の増加および商業用紙の発行などにより31億円の増加となりました。この結果、現金および現金同等物の期末残高は、57億円となりました。



株主の皆様の声

前回のシミックレポートアンケートにおいて、多くの株主様より貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。その一部を掲載いたします。

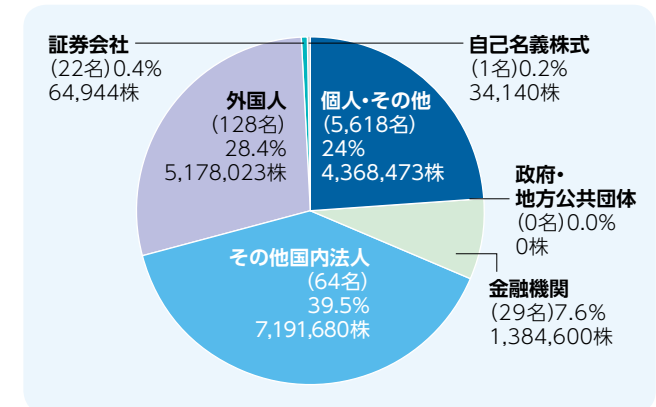
- 新しい医療環境へ向けて、この先もぜひ挑戦して行ってほしいと願っています。
- 利益減少が気になります。具体的な対策を明示していただきたい。
- 海外活動についてレポートに掲載してほしい。
- 医薬事業においてコンプライアンスは重要。高い倫理観をもって、コンプライアンス体制強化に全力投入してください。

今回のレポートでは、業績回復の取り組み、グローバル化への対応について紹介させていただきましたが、いかがでしょうか。今後も、皆様からの声を真摯に受け止め、企業価値向上に向けて努力してまいります。

発行可能株式総数	46,000,000株	
発行済株式総数	18,221,860株	
株主数	5,862名	
大株主	株主名	所有株式数(株) 持株比率(%)
	株式会社アルテミス	6,368,200 34.94
	PERSHING-DIV. OF DLJ SECS. CORP.	1,051,532 5.77
	中村和男	989,720 5.43
	TAIYO HANEI FUND, L.P.	876,200 4.80
	株式会社キースジャパン	719,440 3.94
	THE BANK OF NEW YORK-JASDECTREATY ACCOUNT	686,800 3.76
	TAIYO BLUE PARTNERS, L.P	364,000 1.99
	シミックホールディングス従業員持株会	357,132 1.95
	資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	190,000 1.04
	日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託O口)	179,700 0.98

(注)発行済株式総数に対する持株比率は、小数点以下3位を切り捨てております。

所有者別の構成比率(株式数比率)



商号	シミックホールディングス株式会社
設立	1985年
資本金	3,087百万円
本社所在地	〒141-0031 東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル
事業所	名古屋支社 大阪支社 九州支社
従業員数	5,362名(連結)
グループ会社(連結子会社)	シミック(株) シミックPMS(株) (株)シミックバイオリサーチセンター CMIC Korea Co., Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC, PTE. LTD. CMIC ASIA-PACIFIC (MALAYSIA), SDN. BHD. CMIC (Beijing) Co., Ltd. シミックCMO(株) シミックCMO足利(株) (株)応用医学研究所 CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation (株)シミックエムピーエスエス (株)シミックBS サイトサポート・インスティテュート(株) (株)ヘルスクリック (株)オーファンパシフィック
(関連会社)	エムディエス・シーエムジー(株) シミックJSRバイオロジックス(株) (株)JCLバイオアッセイ



# 株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
剰余金の配当基準日	9月30日(中間配当を行う場合は3月31日)
定時株主總會	毎年12月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
郵便物送付先・ お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-288-324(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告( <a href="http://www.cmhc-holdings.co.jp/">http://www.cmhc-holdings.co.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
証券コード	2309

## ご案内

### 小額投資非課税制度口座(NISA)における 配当金のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座で所有される場合、配当金につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当金を受け取る方式である「株式数比例配分方式」を、お選びいただく必要がございます。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

## シミックホールディングス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル  
Tel 03-5745-7070(代) Fax 03-5745-7077  
<http://www.cmhc-holdings.co.jp/>

UD FONT  
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

hit NIK  
VOC  
FREE

## ヘルス healthクリック の健康コラム

### 花粉症の対策は冬のうちに

花粉症患者は全国で約3,000万人といわれています。花粉症になっていない人でも、春が近づくと「今年は危ないのでは…」と不安になってしまうもの。

### 生活習慣を見直そう

食の欧米化により高たんぱく・高脂肪な食事が増えたことも、花粉症の原因のひとつといわれています。生活習慣を改善することで、花粉症にならない、なってしまっても症状が出にくい体づくりができます。まずは和食を中心に、いろいろな種類の食材をバランスよくとりましょう。

#### おすすめ食材

#### シソの実・葉

シソは、古くから生薬としても使われてきた香味野菜の代表。実と葉の両方に含まれるフラボノイドは、過剰になった免疫反応を正常に戻してくれます。



#### バラの花のエキス

バラの花びらを加熱すると、オイゲニンという成分が抽出されます。ポリフェノールの一種で、ヒスタミンの放出を抑えてくれます。



#### 青魚

青魚に多く含まれるDHAなどにもアレルギー反応を抑制する効果あり。

「花粉症を防ぐ生活習慣 十カ条」とは……?

この続きはhealthクリックのサイトで

花粉症に負けない を検索

▶「目指せ!花粉症に負けないボディ」をご覧ください。

ヘルス healthクリック

「healthクリック」は、健康一般情報および疾病に関する情報を提供する日本最大級の健康ポータルサイトで、ぜひ活用ください。



病院・薬・サプリメントの情報満載!

詳細はこちらへ <http://www.health.ne.jp>